



900MOTORING AIR CUP

製品取扱説明書



www.900motoring.com

はじめに

この度は「900MOTORING AIR CUP」をご購入いただきありがとうございます。

EMBODY THE IDEALS OF YOU.

あなたの理想を具現化するために開発されたエアカップ

走行中のスタイルを一番に考えるあなたのために作り上げました。

スプリング外径 100mm まで対応で幅広いバネレートにお使いいただけます。

段差のきつい出入り口、コンビニやスタンド、飲食店にスムーズに出入りすることが可能です。

ソレノイドバルブシステムはあんしんの国産品を採用。

手元のスイッチに応じて、ソレノイドバルブが働きスムーズに制御します。

さらに、ご購入後も安心してお使いいただけるよう、

充実したアフターサポート体制をご用意しています。

目次

< 初期設定 >	4
< 操作方法 >	4
< 動作確認 >	4
< メンテナンス >	6
< トラブルシューティング >	8

<初期設定>

特に初期設定はございません。

エンジン始動後すぐにお使い頂けます。

※エンジンを始動してから操作を行なって下さい。

<操作方法>

1.

車高が下がっている状態から車高を上げる場合

スイッチを一度押して下さい。※1

スイッチは保持され車高が上がります。

2.

車高が上がっている状態から車高を下げる場合

スイッチを一度押して下さい。※2

スイッチの保持が解除されて車高下がります。

※1 調整中は途中で止めることができません。

※2 車両下の安全が確保されているか確認してから操作して下さい。

<動作確認>

1.

エンジンをかけると、コンプレッサーが作動し始め、エアタンクに空気がたまります。※1

タンク内が既定の圧力に達すると、コンプレッサーは自動的に止まります。

2.

スイッチを操作して、車高の上げ下げが可能か確認します。

車高を上げると空気が消費され、既定の圧力以下になった場合コンプレッサーが自動的に作動し始めます。
※2

※1 必ずエンジンをかけてコンプレッサーを作動させて下さい。

コンプレッサーが作動している時、コントローラー画面右上の数値が上がることを確認して下さい。

※2 スマートフォン（以下、スマホ）で操作する場合も同じ確認をして下さい。

<メンテナンス>

1.

ウォーターセパレーターの点検（週一回点検推奨）

- ・タンクに接続されているウォーターセパレーターの下ノズルを指でつまみ上げて下さい。

水が出るのでウエスを用意して下さい。

2.

エア漏れ、破損の点検（月一回点検推奨）

- ・リークチェックですべての継手などから漏れがないか点検して下さい。※1
- ・エアバッグはじめ、その他エアサスに関する部品の亀裂、破損がないか点検して下さい。※2

3.

動作の点検（乗車前点検推奨）

- ・スイッチが正常に動作するか。
- ・車高が正常に上げ下げできるか。
- ・コンプレッサーが正常に動作しているか。※3
- ・エアタンクの圧力が低下していないか。

4.

グリスアップの点検（週一回点検推奨）

- ・車高調のエアカップが動作する範囲にグリスの塗布をして下さい。※4

※1 市販のリークチェックを推奨しますが、石鹼水でもかまいません。

石鹼水の作り方：中性洗剤 1： 水 4 を混合する。

※2 亀裂、破損を見つけた場合は写真を撮り取付業者に確認してもらい、指示に従って下さい。

※3 コンプレッサーは熱を持つので動作確認時にはやけどに注意して下さい。

コンプレッサーは約 120psi 以下になると作動し、約 150psi に達すると自動で止まります。

※4 グリスを塗布しづらい場合はスプレーグリスでの塗布で問題ありません。

<トラブルシューティング>

1.

エンジンをかけてもコンプレッサーが動作しない場合

- ・エア圧が既定の圧力に達している場合は作動しませんので、コントローラーのエア圧を確認して下さい。

コンプレッサーは約 120psi 以下になると作動し、約 150psi に達すると自動で止まります。

- ・ACC 電源のヒューズが切れている場合がありますので、

車内のヒューズボックスに接続されている ACC 電源取り出しヒューズを確認して下さい。

2.

スイッチで上げ下げを操作しても車高が上がらない下がらない。

- ・車高が上がらない場合はエア圧が足りていない場合があります。コンプレッサーが自動的に止まってから再度車高調整を行って下さい。

- ・車高が下がらない場合はエアカップのエアが全て抜けている可能性があります。

- ・スイッチ裏のカプラーが抜けている、または、断線している場合があります。配線を確認して下さい。

- ・バッテリーまたは、ソレノイドバルブ本体のアース線（黒）が接触不良、または断線していないか確認して下さい。※1

3.

車高が正規の位置まで上がらない。

- ・車高が上がらない場合はエア圧が足りていない場合があります。コンプレッサーが自動的に止まってから再度車高調整を行って下さい。

- ・エアカップのプリスアップが足りない場合があります。

4.

車高を上げたまま時間を置くとエアバッグ、タンクのエア圧が低下する。

- ・エアカップは基本上げたままにしないで下さい。

エアカップの構造上少量のエアリー漏れが発生しています。

- ・リークチェックにて各フィッティングの微量のエアリー漏れがないか確認してください。

※1 配線を点検する際は必要に応じてバッテリーのマイナス端子を外して点検作業を行って下さい。

以上の確認をした上で動作不良が解決しない場合は、ソレノイドバルブ、スイッチ、コンプレッサー、エアカップ、その他の部品が壊れている可能性があります。

その場合はすぐに取付業者にご連絡下さい。

※取付業者以外の方が修理作業などを行った場合、保障対象外となりますのでご注意下さい。

900MOTORING

代 表 芳 賀 卓

900motoring@ymail.co.jp

090-3619-1772



-NOTE-